

D
I
O
N
L
I
N
E

入部式・幹部交代式

新型コロナウイルスの影響で9月19日(土)開催となりました。9月19日(土)は、新幹部の宣誓と幹部交代式及び幹部奉納演武を行いました。



入部式の様子。
(左は入部者宣誓、右は奉納演武)



4年間 決意を込めた 入部式

入部式では一回生代表の高橋（スポ健1）による入部者宣誓、一回生による決意表明、第57代による演武披露、監督講話、部長挨拶が行われました。



前川監督：一回生に一番理解してほしい事は少林寺拳法の創始の目的です。少林寺拳法は大会成績が良い者が優れているわけではない。目的は人間成長です。



飯田部長：自ら体育会という厳しい環境に身を置くことを選ばれた皆さんに敬意を表します。部での活動を通じて競技の実力を向上させるだけでなく、個人としての忍耐力、そして他者と協力し目標を達成する力を育んでいただきたいと思います。



高橋：私が一回生代表として読んでもいいのかと不安な気持ちもありましたが、頼まれたからには高橋に頼んで良かったと思われるようにならうと考えていました。途中で噛んでしまうほど緊張していましたが…(笑)。ですが、この部活動に入る覚悟の再確認だけでなく、一回生代表として良い経験ができたと感じました！

新チーム 大きく始動

第57代から第58代へとバトンが引き継がれ、この日をもって新体制がスタートします。前幹部、新幹部の挨拶が行われ、さらに出席してくださったOB・OGの先輩方の中から代表して、林第56代主将から一言頂戴しました。



前川監督：コロナ禍で誰も経験していないことに直面している時だからこそ、第58代幹部には新たなことにどんどん挑戦していってほしいと思います。



飯田部長：幹部となられた皆さんにはこれまで以上にどのようにして組織としてこの部を強くしていくか考えることが求められます。より良い競技成績を残すという目標に向かって、部員の心を一つにまとめる期待しています。



南第57代主将：幹部として過ごした一年を振り返ると、『挑戦』『成長』『感謝』に溢れた、非常に充実したものになりました。引退後も、何事にも『挑戦』していこうと思います。

第14号
発行者
川村・黒川・
白枝・村上・
小川



写真上：前幹部（第57代）



写真下：新幹部（第58代）



森内第58代主将：厳しさの中にも愛をもって部員ひとりひとりに寄り添い、『成長』を実感できる部にしていきたいです。



林第56代主将：幹部全員がこの部を良くしていこうと一致団結していたり、バランス良くそれぞれ得意不得意を活かして、適材適所で頑張っていたなという印象ですね。

我々第58代も先輩方から成長したと思ってくださいるよう頑張っていきたいです。

オンライン運営会議！

運営会議の目的は、監督・コーチ・幹部の間で運営方針について議論し、ベクトルを合わせることです。第58代幹部は「社会で通用する人材の育成」を目的とし、「人格・技術・運営の三拍子が揃った世界一の部活にする」と一年間の運営ミッションを宣言しました。

森内主将・今年の運営目標は『運用法意識改革』です。【なんでも同志社】として演武だけではなく、運用法でもチーム一丸となつて目標達成に向かっていく必要があると感じたためこのようないきなり運営目標を立てました。コロナ禍という荒波のなか、始動した我々第58代幹部ですが、どのような状況にあります。無く舵を取つていきました。べき方向を見失うことをいつ思つていいです。

画を鑑賞しました。好評だったOB・OGの先輩方による現地リポートのコーナー。北海道からの方にチャットを通じて、夏季運営会議の様子。

会えずとも、ZOOMで繋がった拳法部

我々幹部はこのコロナ禍という状況だからこそ、日頃応援していただいているOB・OGの皆様と一緒に出を作り、我が部の結束力を再確認しよう、という気持ちでオンライン懇親会を企画することにしました！OB・OGの先輩方の協力のもと現役部員で知恵を出し合い、11月21日(土)、無事開催することができました！

ハイタッチ一発

走れ！龍之介！

遠くへ行きたい！

蘇れ！あの日の思い出！

さうば青春時代！

OB・OG 83名参加
創部史上最大規模！！



「おもろいけど時代ですねここまで監督コーチをいじれるとは、」
(42代 尾野さん)
「さすがでした！」
(4回生 動画！！)

「すごいです！！」
(3回生 景山)
「ワールドワイドな会になつて感動します。」
(53代 山田さん)
「北海道遊びに行きました！」
(43代 山内さん)
「私も行きました！」
(4回生 三浦)
「私も行きました！」
(37代 下津浦さん)



前川監督のモノマネをする南前主将。前川監督本人も納得してしまうほどのクオリティを見せ一同を沸かせた。



当日の様子。多くの世代の方が参加され、大規模の懇親会となった。

「現役の皆さんとのZOOMでの打ち合いでいた先輩方からこのよだなコメントを頂きました。
・44代 柳澤さん、辻井さん
「泽山のOB・OG達と一緒に参加できれば嬉しかったです。ZOOMでの発表は難しかったですが、良い経験になりました。」
・38代 中江さん
「泽山のOB・OG達と一緒に参加できれば嬉しかったです。ZOOMでの発表は難しかったですが、良い経験になりました。」
・44代 柳澤さん、辻井さん
「泽山のOB・OG達と一緒に参加できれば嬉しかったです。ZOOMでの発表は難しかったですが、良い経験になりました。」

このようにOB・OGの先輩方と現役部員が一つになり、同志社ファミリーとしての結束力がより強くなつたと感じられる会になつたのではないかでしょうか。これからも我々少林寺拳法部はどのような逆境にも負けることなく、イノベーションの意識をもつて成長し続けるチムでありたいです。これからもご支援ご協力のほど何卒宜しくお願いいたします。

さるに「遠くへ行きたい！」に出演していただきました先輩方からこのよだなコメントを頂きました。

帰ってきた武道館！全日本学生大会

関西学生大会

11月8日（日）。2年ぶりの日本武道館。本年度の全日本学生大会は例年とは違い無観客で、さらに入館人数も制限され、午前と午後完全入れ替え制で、各部門本選一発勝負という形で行われました。また、成績による順位付けは行わず、級拳士は255点（85点平均）以上、有段者は258点（86点平均）以上の者が優秀賞として表彰されました。結果はなんと、出場13組中7組が優秀賞に選ばれました。練習時間が一日2時間以内という制限のもと、効率良く練習に励んできただけでなく、2年ぶりにペアを組み、見事優秀賞に輝いた稻垣（スポ健4）・橋本（同女4）ペアに話を伺つてみました！



稻垣…お互い別のペアを経験して戻つてきたため、二人の息がすぐにあつたというわけではありませんでしたね。そのため、練習を重ねながらお互いの突き蹴りの速さ、投げのスピードを体に思い出させて、或いは前回よりもスピードアップしていましたところは少しずつ息を合わせて、2年前よりももっと上のレベルを目指してきました。



二年前の全国大会でも最優秀賞を受賞した稻垣（スポ健4）・橋本（同女4）。

橋本…二人だからこそ伝わるリズム感や演武の作り方もありました。そのため、楽しさもあり、また、これが大学最後の演武、と思うと失敗したくないと気持ちから少し緊張して練習していたこともあります。ですが、総じてその緊張もとても楽しかったです。

小川…初めての大会ということで見えない部分が多く不安でしたが、ペアの本間と試行錯誤を重ねたこと、そして周りのサポートもあり、本番では自分たちらしい演武ができました。



本間

…二人だからこそ伝わるリズム感や演武の作り方もありました。そのため、楽しさもあり、また、これが大学最後の演武、と思うと失敗したくないと気持ちから少し緊張して練習していたこともあります。ですが、総じてその緊張もとても楽しかったです。

小川…初めての大会ということで見えない部分が多く不安でしたが、ペアの本間と試行錯誤を重ねたこと、そして周りのサポートもあり、本番では自分たちらしい演武ができました。

また、初めて日本武道館の地に立った、初々しい一回生の小川（神1）・本間（同女1）ペアに話を伺つてみました！彼女たちもまた優秀賞に輝いています！

小川…初めての大会ということで見えない部分が多く不安でしたが、ペアの本間と試行錯誤を重ねたこと、そして周りのサポートもあり、本番では自分たちらしい演武ができました。

また、初めて日本武道館の地に立った、初々しい一回生の小川（神1）・本間（同女1）ペアに話を伺つてみました！彼女たちもまた優秀賞に輝いています！



絵馬に目標を書き、見事達成した小川（神1）と本間（同女1）。

本間…大会当日は緊張しましたが、本番で力を出し切れるような練習計画のおかげで私も自分たちらしい演武をすることができたと思っています！

小川…大会当日は緊張しましたが、本番で力を出し切れるような練習計画のおかげで私も自分たちらしい演武をすることができたと思っています！



森内主将

…今年はコロナ禍で多くの制限があり、試行錯誤しながら修練・運営に取り組んできました。結果として、総合優勝という目標は達成することができました。この結果を真摯に受け止め、来シーズンでは、チーム同志社として総合優勝を取れることができるよう、修練に励んでいきたいです。



森内主将…今年はコロナ禍で多くの制限があり、試行錯誤しながら修練・運営に取り組んできました。結果として、総合優勝という目標は達成することができました。この結果を真摯に受け止め、来シーズンでは、チーム同志社として総合優勝を取れることができるよう、修練に励んでいきたいです。



課題としてきた運用法では出場5人中2人が3位入賞を果たしましたが、総合得点に占める運用法の割合が低く、演武だけ結果を残しても総合優勝は取れないことを部員全員が痛感したのではないか。悔しさを忘れず修練に励み、来シーズンの関西学生大会では文字通り『全員で』総合優勝を勝ち取りたいです。



森内主将…今年はコロナ禍で多くの制限があり、試行錯誤しながら修練・運営に取り組んできました。結果として、総合優勝という目標は達成することができました。この結果を真摯に受け止め、来シーズンでは、チーム同志社として総合優勝を取れることができるよう、修練に励んでいきたいです。



大会後に撮影された集合写真。来年こそは優勝できるように修練に励んでいきたい。

競技中であってもマスク、長袖インナーの着用が義務付けられた。

12月5日（土）に開催されました関西学生大会は全日学生大会同様、無観客で、さらに午前と午後に分かれて、本選一発勝負という形で行われました。2020年を締めくくる大事な大会でしたが、多くの制限があるなか行われた秋シーズンの修練の成果を発揮し、単独演武では2組、組演武では10組が入賞することができました。また、運用法の部でも男子中量級の部、女子の部において、南（社会4）、橋本（同女4）が3位になりました。しかし、結果としては総合3位で、我が部が掲げていた『総合優勝』という目標には及ばず、課題の残った大会となりました。



本選一発勝負という形で行われました。2020年を締めくくる大事な大会でしたが、多くの制限があるなか行われた秋シーズンの修練の成果を発揮し、単独演武では2組、組演武では10組が入賞することができました。また、運用法の部でも男子中量級の部、女子の部において、南（社会4）、橋本（同女4）が3位になりました。しかし、結果としては総合3位で、我が部が掲げていた『総合優勝』という目標には及ばず、課題の残った大会となりました。